

憲照先生の手本ア・ラ・カルト(15)
(à la carte)

締切り 三月二十四日(必着)

昭和58年6月

こ	熱	鉄
ハ	い	は
と	う	
打	ち	
7	に	

つけペン・墨汁使用

〔解説〕

鉄

は

熱

い

う

ち

に

7

サツと
10

と

打

7

▼行書は楷書の字形を少しやわらげる。

◎本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。

まだまだ世の中には、新型コロナ禍の影響で、世界中が不安の中にいます。

しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★鉄は…(書体Ⅱ行書)

ウェブスター(ダニエル)

(一七八二〜一八五二・アメリカ、雄弁家)

これは、だれもが口にする言葉である。すべて物事には時機がある。その時機を失うと、いかに努力しても事は成就しない。ちょうど鉄を打つようなもので、冷めたらもう曲げることも伸ばすこともできないが、熱いうちなら思うままの形にすることが出来る。教育のこともそのとおりで、子供のうちによく教えておけばよいが、それに失敗すると取り返しがつかない。「矯(た)めるなら若木のうち」というのも同様な意味である。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会級位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

一般部規定課題

締切り 3月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

川田順造

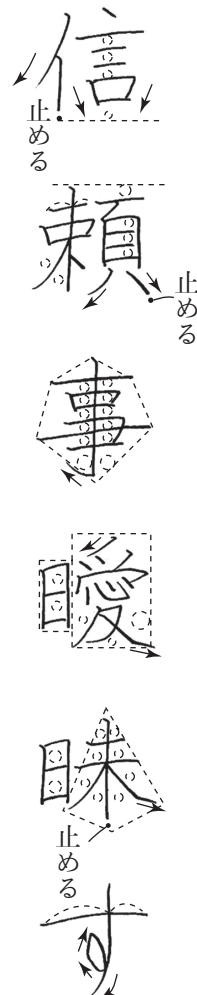
問題は意識がなければ
目には節穴である

新井龍峰書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



曖	と	信
昧	い	頼
さ	う	さ
を	事	れ
な	は	る
く		
す		
事		

古田瑞苑書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

★信頼される…(書体＝楷書)

高峰秀子(一九二四～二〇一〇)

女優・歌手・エッセイスト

微笑は、愛嬌のよさで苦境を凌ぐほ

かなかった日本女性のやむをえぬ術

だったと、往年の女優は言っています。

「娘時代はよく笑い、結婚すると笑いを忘れ、姑になると笑い出した」

信頼があれば曖昧な笑いの粧いなど

無用だ、とも言っています。

◆4月課題予告(行書)

子どもは母親から

愛することを学ぶ

モロア

★問題…(書体＝行書)

川田順造(一九三四～)

文化人類学者

各国の生活技術を長く調査してきた

文化人類学者は、食う・運ぶ・座る・

歌うなどの身体の使い方にも異なる作

法と原理があることに着目します。

技術のちょっとした差異に気づいた

ことから、ある問題意識が生まれ、新

たなものが子細に見えてくるでしょう。

◆4月課題予告(楷書)

孟母三遷の教え

断機の戒め

古烈女伝

▼教範・書範＝行草または草書

▼師範＝行書

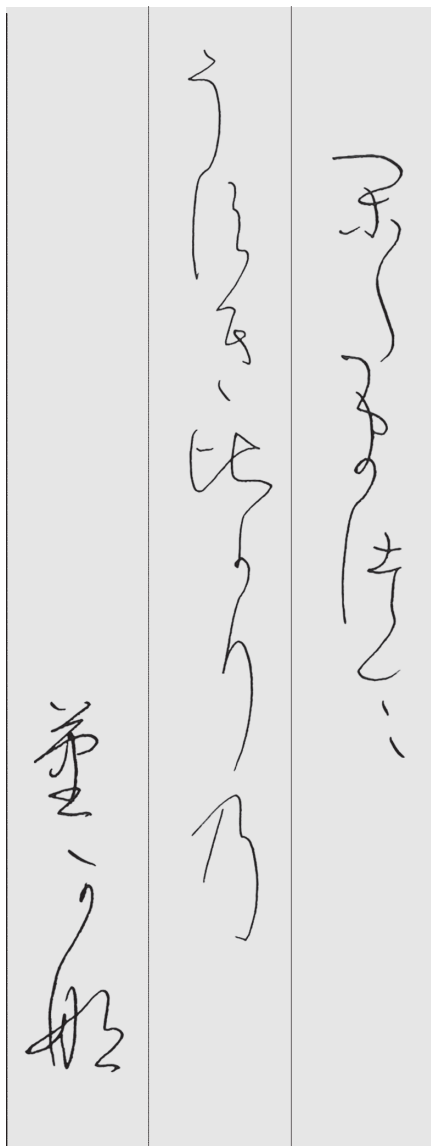
一般部かな課題

締切り 3月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

閑多徒天須比可り乃
かたまつて薄き光の菫かな

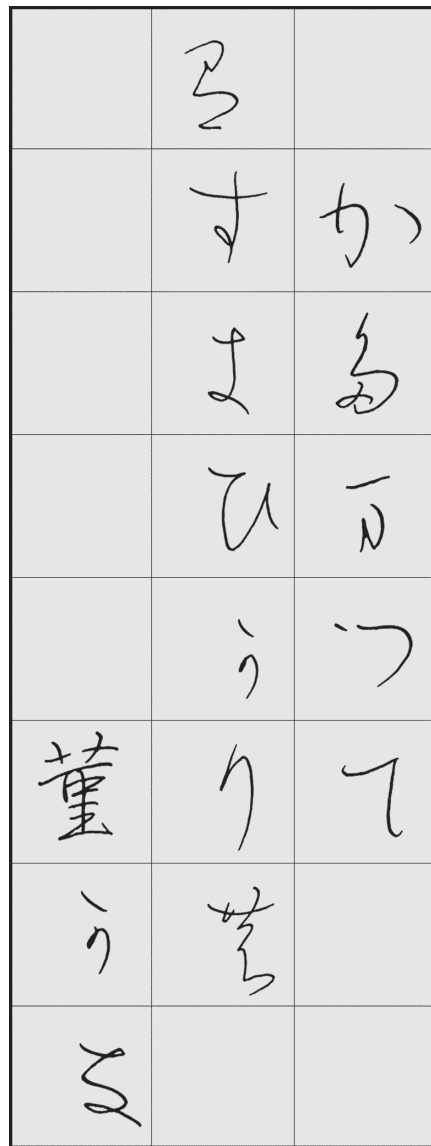


た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

多万川(州)
有す支ひ可り農
かたまつて薄き光の菫かな



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

〔古筆参考〕

閑多徒有須農
かたまつて薄き光の菫かな

〔解説〕一本の長い線を書く時は、端よりも真ん中あたりが心もち太くなるように書くと、仮名の柔らかさが出ます。

◆4月課題予告

乗鞍のかなた春星かぎりなし
(前田普羅)

かたまつて薄き光の菫かな

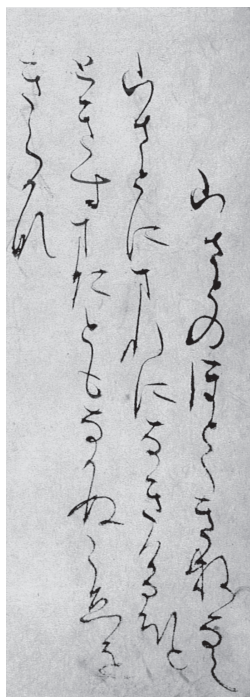
(渡辺水巴)

〔句解〕山上の日当たりのよいところに小さな菫がかたまつている。淡い紫色の花にやわらかな光を浴びて、なんと可憐に咲いていることよ。

〔鑑賞〕房総(千葉県)西部の本更津に作者の支部があり、そこが登山口の鹿野山という大景に接しながら脚下の微物に思いを凝らした作品である。〈かたまつて〉は無造作なようにうだが、地に接するように群がり咲く菫の特徴を的確にいい表している。

〔古筆参考〕

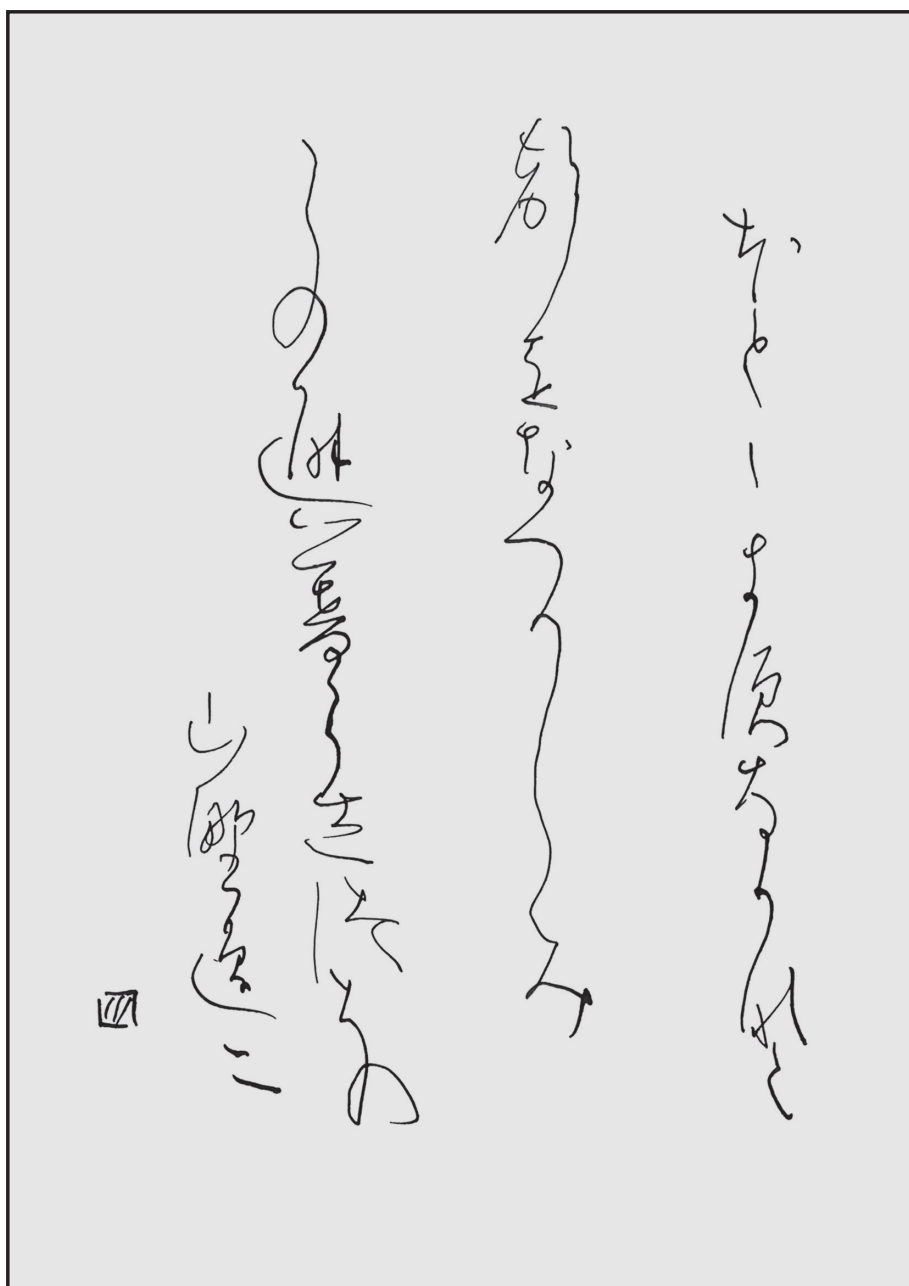
なかつかさしゅう
中務集



山ぎとのほととぎすなく
山ざとにまれになきけるほと
とぎすまたともなかなぬこゑを
きくかな

締切り 三月二十四日（必着）

築瀬舟香書



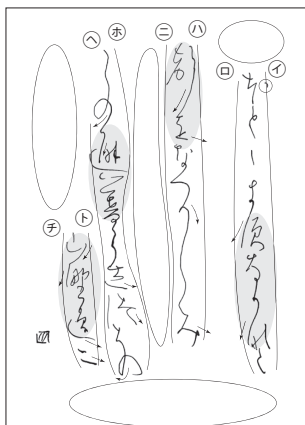
本、支須奈可那
ほととぎすなが鳴く声をなつかしみ
この日暮らしつその山野辺に

〔歌意〕 青い山の梢をぐぐってほととぎすの鳴く声を聞くと、春はもうすぎ過ってしまったのだ。

〔出典〕 近世和歌集

（日本古典文学大系）

〔解説〕



・ ①と②、①と③、①と④、①と⑤、
①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、
①と⑩、①と⑪、①と⑫、①と⑬、
①と⑭、①と⑮、①と⑯、①と⑰、
①と⑱、①と⑲、①と⑳、①と㉑、
①と㉒、①と㉓、①と㉔、それぞれ
呼応。

・ 行の密の部分の動き大切。

・ 指向性（線の方角）大切。

・ 余白大切。

◆ 4月課題予告

幾むれか驚のとまれる宮の森
有明の月雲隠れつつ

締切り 3月24日(必着)

奈良のお水取りがすみますと、春を迎える支度もすっかり整ったような心持ちになります。二年間中止にしていた社中展も、来月の初めに開催する予定ですので、期間中は何卒よろしくお願い致します。

奈良のお水取りがすみますと、春を迎える支度もすっかり整ったような心持ちになります。二年間中止にしていた社中展も、来月の初めに開催する予定ですので、期間中は何卒よろしくお願い致します。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

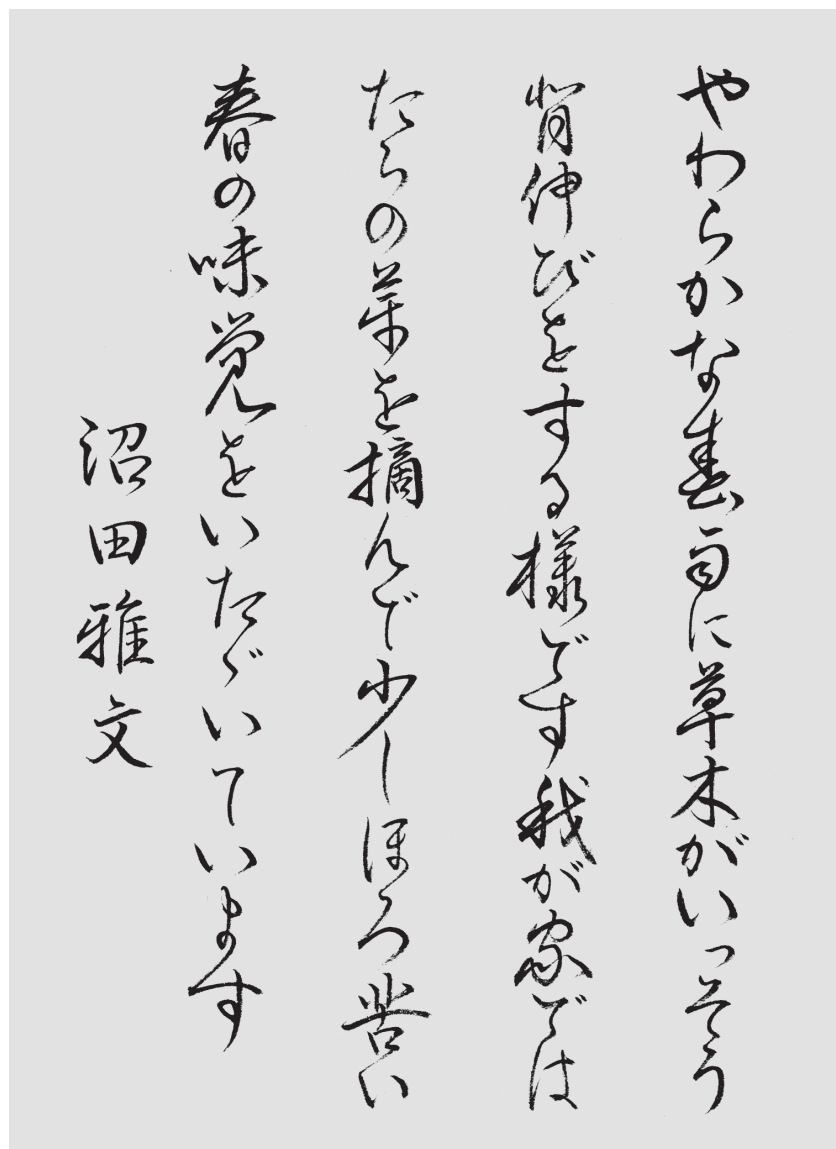
うぐいすは、暖かくなる頃に鳴くところから「春告鳥」の名がある。

静岡県富士市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

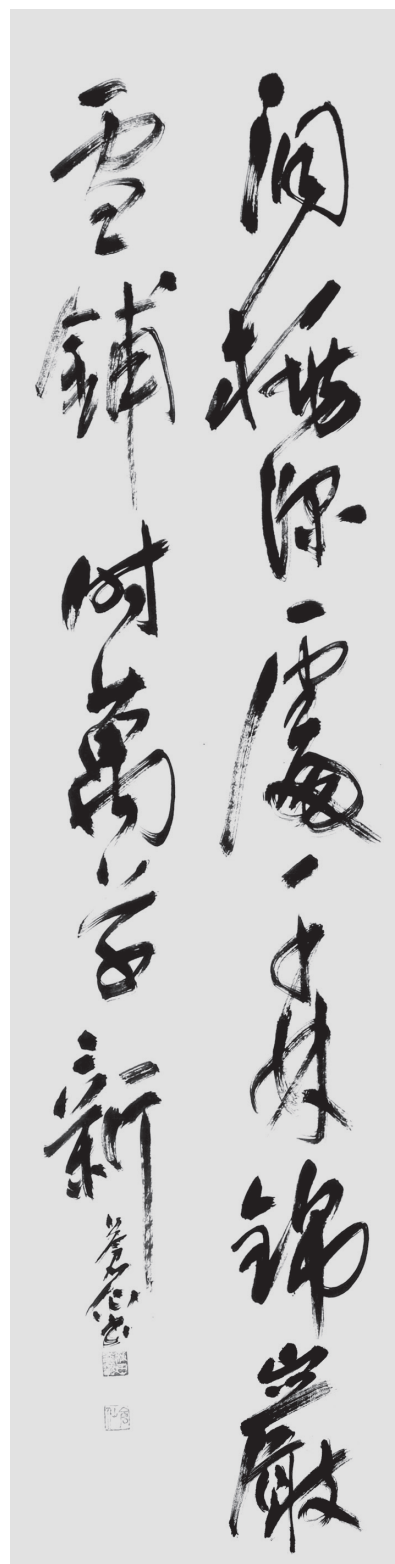
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



洞桃深處千林錦

巖雪鋪時萬草新

締切り 三月二十四日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙書

〔条幅解説〕

今月は日展ご常連の東竜先生の言葉を借ります。「撓り」筆を逆筆で当て込んだ時、鋒先が紙にくい込み鋒が弓状になります。撓んだことで力が溜まり、その力を利用して逆方向に引きまします。強い線をこの方法で訓練して下さい。

やわらかな春雨に草木がいっそう
背伸びをする様ぞす 我が家では

花の芽を摘んで少しほろ苦い
春の味覚をいたぐいていす

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕 洞穴の近くに桃の花が咲いて錦のよう美しく、巖の雲が薄く敷いたようで次第に草木が芽生え始める。初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

陽春布 徳澤

陽春布徳澤
ようしゅんとくたくをしく

〔大意〕 温暖な春の時節に天子の恩沢があった。
そのめぐみに人々の喜びはいかばかりかという意味。

澤 さわ
幸 さい
寿 けう
書

〔解説〕

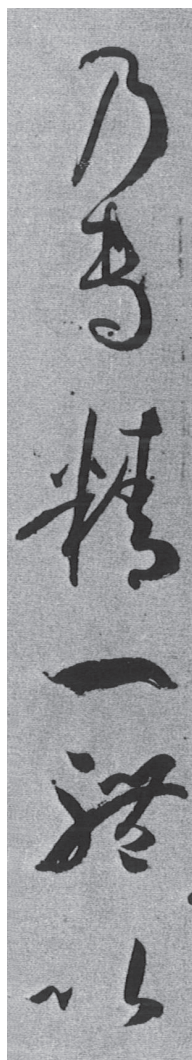
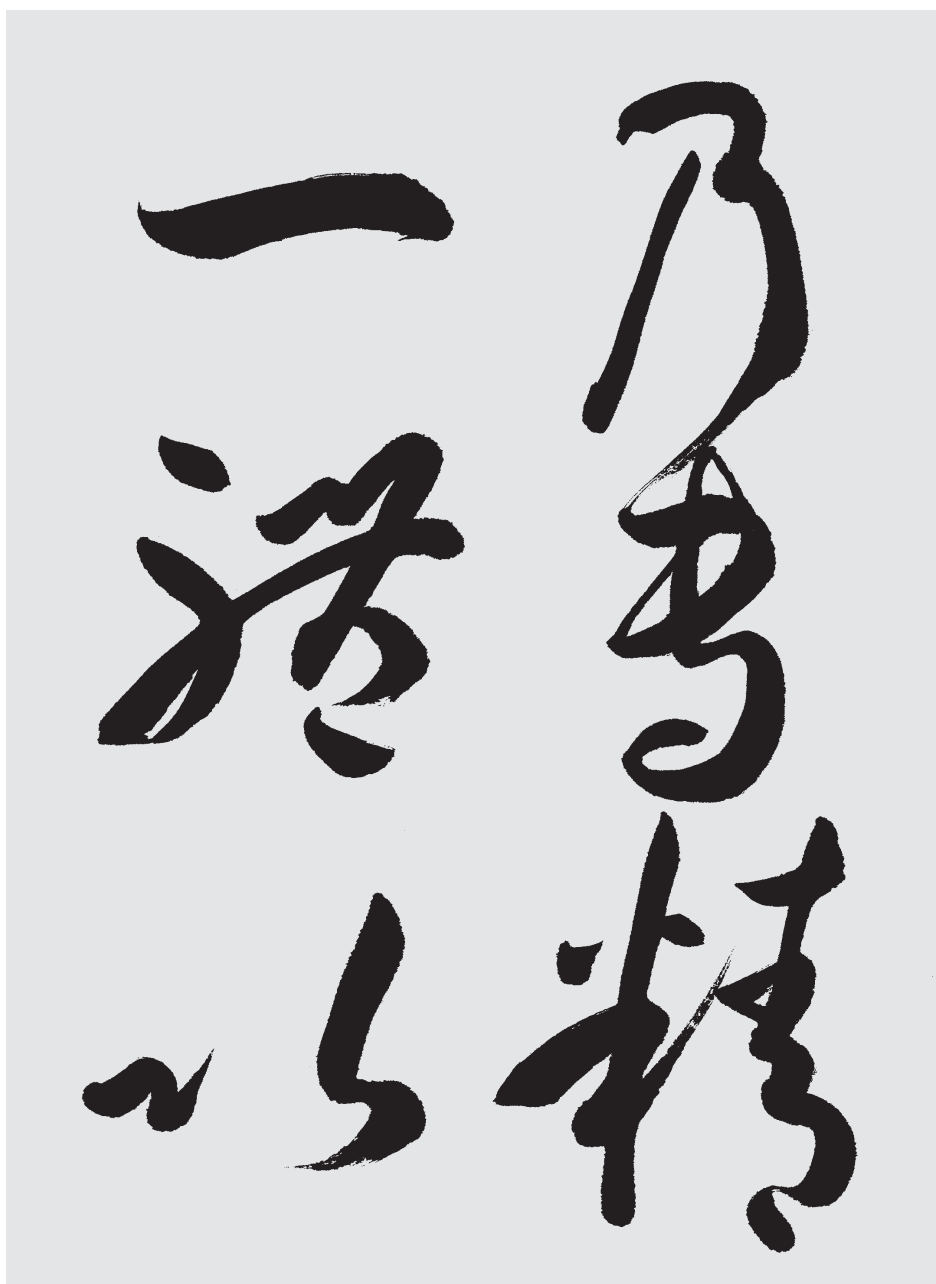
陽 春 布 徳 澤

◆4月課題予告(行書)

樂天心 不憂

準初段から師範まで

須田一葉 臨



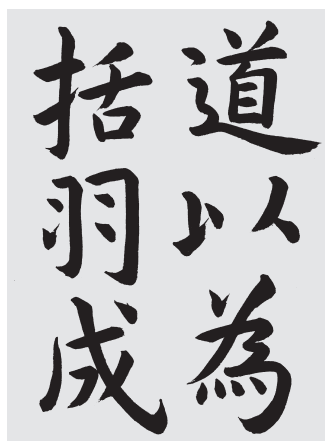
乃
專
精
一
體
以

〔解説〕

〔出典〕書譜（六八七）
〔筆者〕孫過庭（六四八？～七〇三？）
〔読み〕乃ち精を一体に専らにして、以って

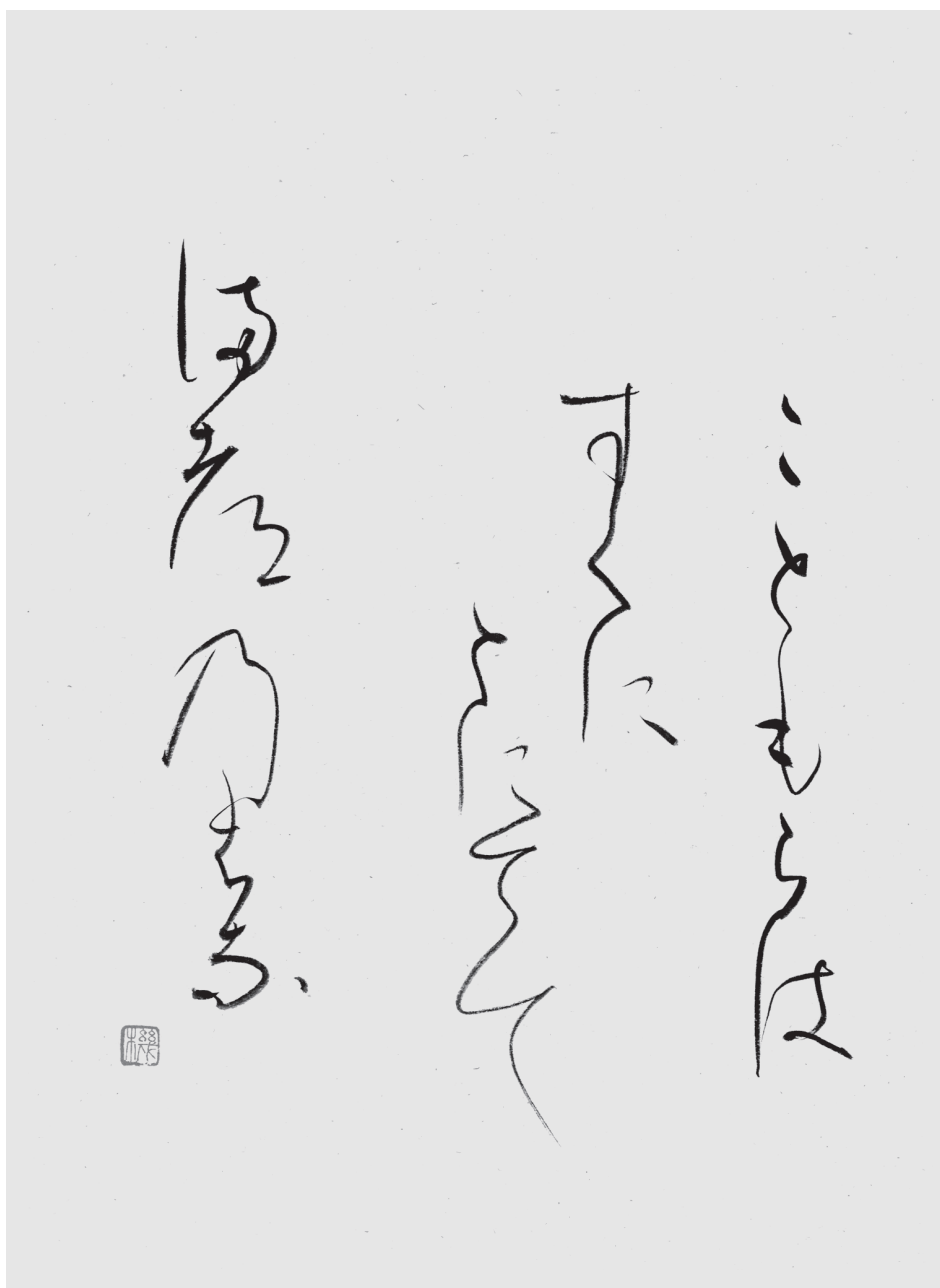


◆4月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井 機山先生書



子供等^{こどもら}は^とすぐに^と外^とに出^でて^て松^{満都乃者奈}の花

星野立子^{ほしのたちこ}

〔句意〕

松の花が盛んに降る中、嬉々として子供たちは遊んでいる。開放的で明るい句である。

◆4月課題予告

常夏^{とこなつ}の碧き潮^{あを}あびわがそだつ^{しほ}

〔解説〕

上5は、1行に。

中7は、右の行と行頭を揃えて書き出し、3字と4字に行を変えて。

下5は、変体仮名でやや大きめに、3字書いて後の2字は上5、中7と同じくらいの字粒で書き収めます。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「こどもらは」

上部を3分の1ほどあけて、太鼓を叩くような気持ちで「こ」の点々を書きます。「と」の第1画は「こ」の点を受けて3つの点を打ちます。「と」から「も」の連綿は左回り、左回りという具合に連筆します。「も」の点々は小さな太鼓を叩くようにします。

「すぐに」

第1行と行頭を揃えるように書き出します。「す」のくるっと回るところから「くに」まで連綿しますが、続けて書くのが難しい場合は、「く」を書き終えてから角で毛先を立て直してバネをかけてから「に」の第1画まで書き進みます。その角で毛先が上手く立たない場合は、いったん紙面から筆を離し、筆を持ち直して毛先を立ててつないでいきます。

「とにてて」

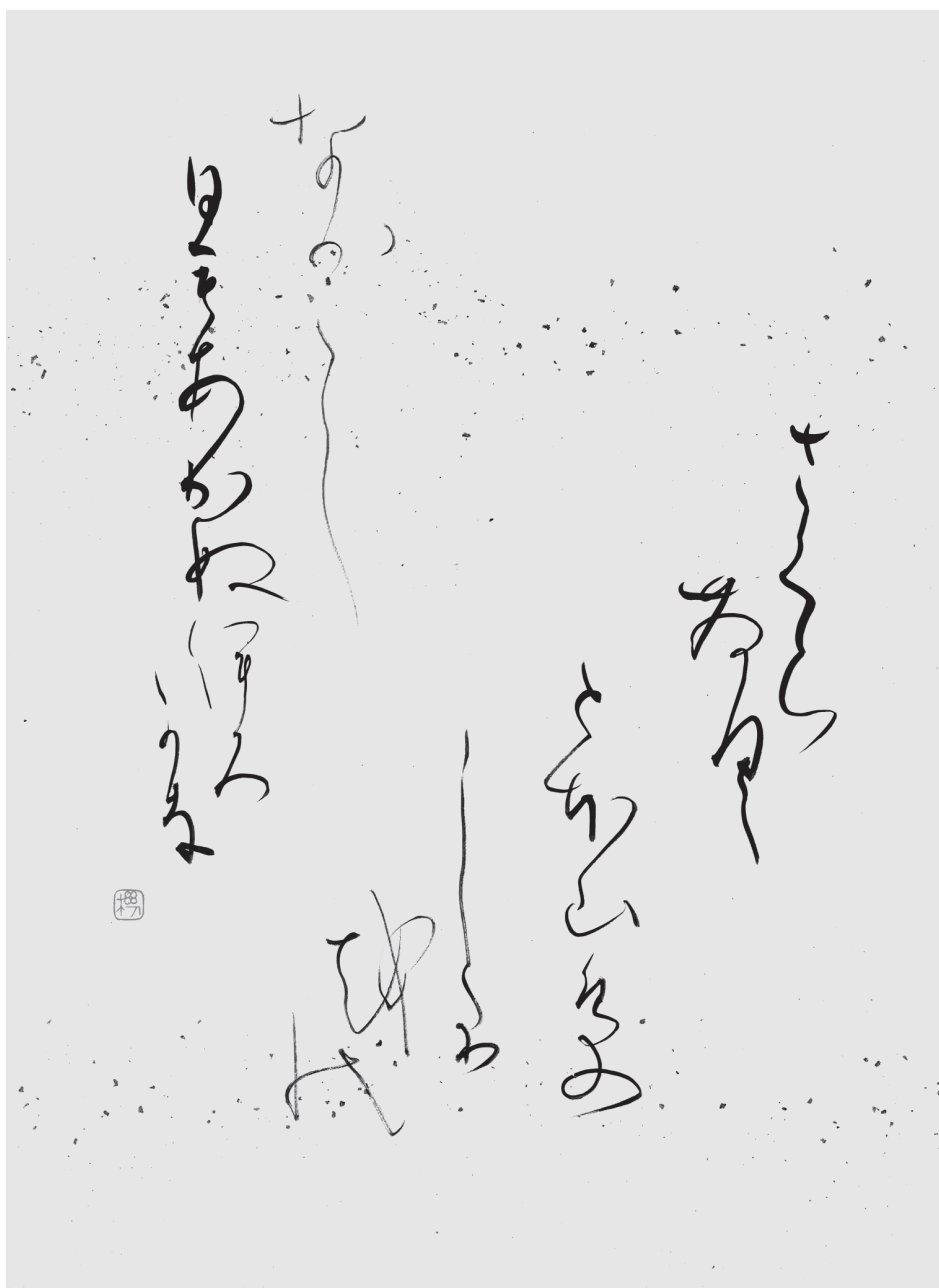
「てて」と2字続きます。

〔満都乃者奈〕

変体仮名は、よく字形を捉えるまで何回か書いて、手慣れてから書きます。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



さくら咲く遠山鳥のしだりをの

ながながし日もあかぬ色かな

〔歌意〕

桜の咲いている遠山は、山鳥の尾の長い、そのようにながし春の日を見つけていても、見飽きることはない美しい色であるよ。

◆4月課題予告

流れ来て松の木陰になるときは
水の心も涼しがるらむ

「新古今和歌集2・春99」後鳥羽院

〔解説〕

料紙は鳥の子(雁皮)に加工したものの。全体にうすい紫色を刷毛染めして、裾に墨流しを施し、上部と下部にやや粗い金銀の砂子を蒔いています。それを「打ち紙」して仕上げてあります。

全体の散らし書きを見ていきましょう。

上3分の1程あけて書き出したのを受けて、三角形になるように行を順々に下して、安定した形を作ります。

次に、上に上がって、2行「可奈」を添えて全体の広がりを作ります。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「さくら」

「さ」から「ら」へ、だんだん力強く。

「散具」

前行に添わせて1カタマリにします。

「と本山鳥の」

行間を少し広げて「と」を書き出し。

「し多利」

「し」を長く、「多利」を小さく。

「越能」

1字1字大きく、カスレで3画の先端がぼける感じにおさめます。

「な可、し」

上に上がって、カスレで右の大きな余白を受け入れます。

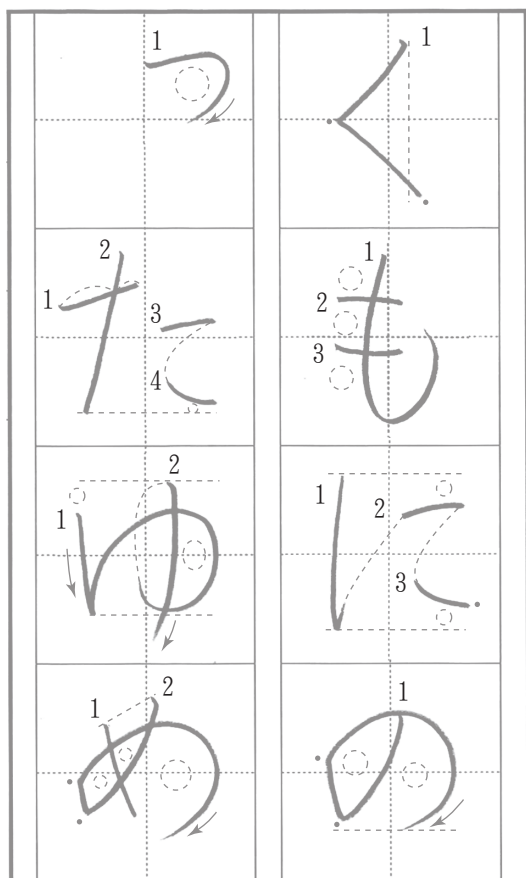
「日毛あかぬ伊ろ」

墨継ぎして、力強く。「伊」は細めに書きます。

「可奈」

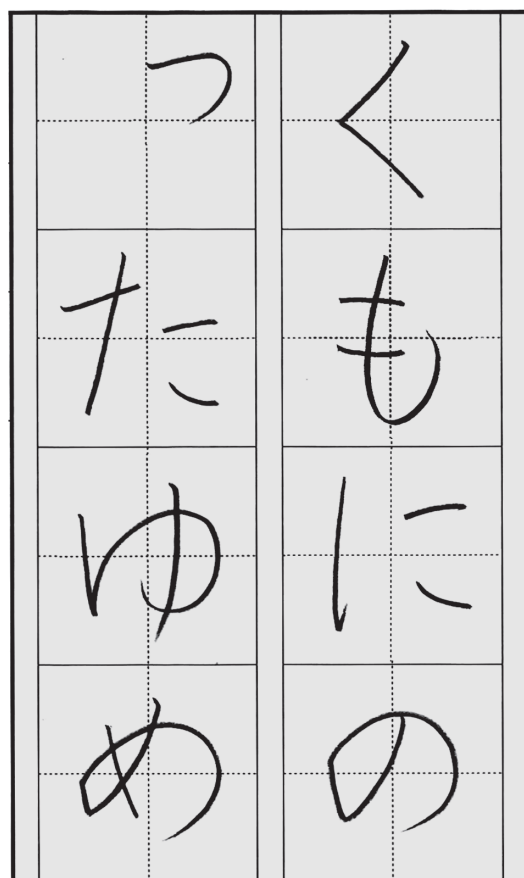
前行の裾に添えて、全体のバランスを取りながら、書きおさめます。

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)



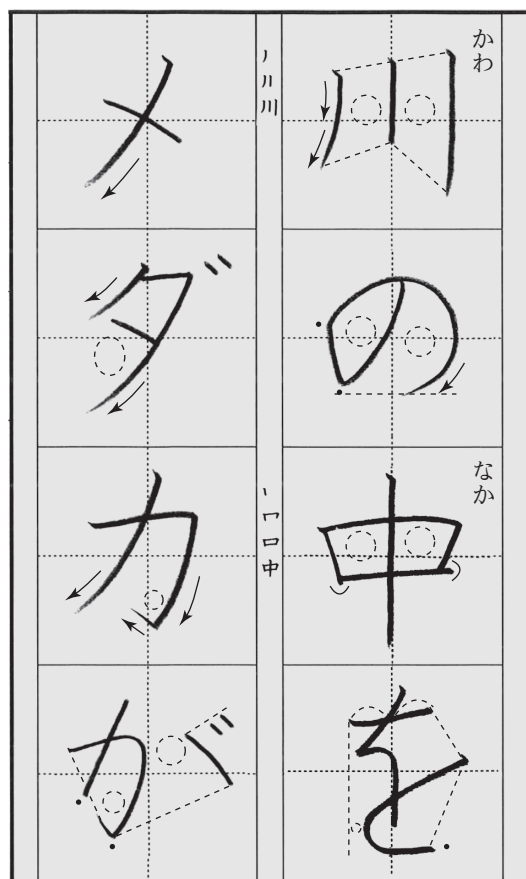
◆ひらがなトレーニング (なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



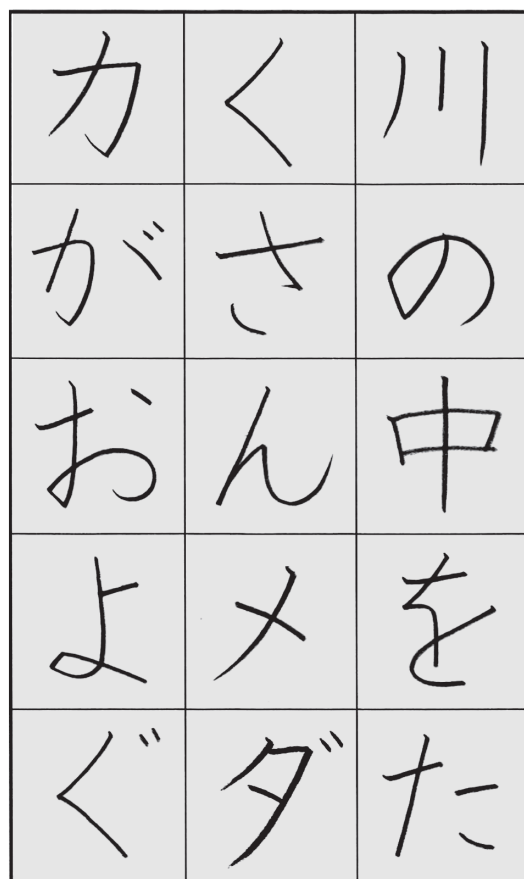
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由 (黒色にかきこむ)

三 丑 夾 未 春 春	春	はる	ノハム今	今	(きょう)
ノイ付付付	休	やす	一 日 日	日	(きょう)
	み			か	
	に			ら	

新入 1 級

※今日 単語としてこのように読みます。

み	学	今
に	校	日
な	は	か
る	春	ら
よ	休	小

小 二 年

準初段以上

糸 紅 紆 紆 緑	緑	みどり	、 ュ 広 広 広	広	ひろ
	の			い	
ノハ公公	公	コウ	ハナハ空空空	空	そら
門 門 園 園 園	園	エン		と	

新入 1 級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

ふ	空	晴
れ	と	れ
る	緑	た
公	の	広
園	あ	い

小 三 年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

み	周
拾	辺
い	の
を	ご

新入1級

拾	周	全
い	辺	校
を	の	生
す	ご	徒
る	み	で

小四年
準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

美	村
和	名
織	産
物	品

解説(よく見て習いましょう)

し	は	村
い	と	の
和	て	名
織	も	産
物	美	品

小五年
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

イオオカ格格格	格 カク	難 むずか(しい)
一丁目取取	取 シュ	国 コク
イ和和得得	得 トク	家 カ
一丁目目	目 め	資 シ

解説(よく見て習いましょう)

を	資	難
目	格	し
指	の	い
す	取	国
兄	得	家

小六年

(全員)

で	の	桜
離	瀬	が
島	戸	咲
巡	内	く
り	海	春

中二・三年

(行書)

個	作	新
展	家	進
を	に	気
見	よ	鋭
た	る	の

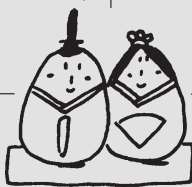
中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

た なか あい こう
田 中 愛 紅 書

か	お	き	三	母
ざ	ひ	よ	人	と
り	な	う	で	妹
つ	様	力		と
け	の	し		
		て		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 3月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

たか はら ひ すい
高 原 飛 水 書

ピ	輝	教	掃	今
カ	く	室	除	週
ピ	ほ	の	当	は
カ	ど	窓	番	
に		ガ	で	
し		ラ	す	
ま		ス		
す		も		



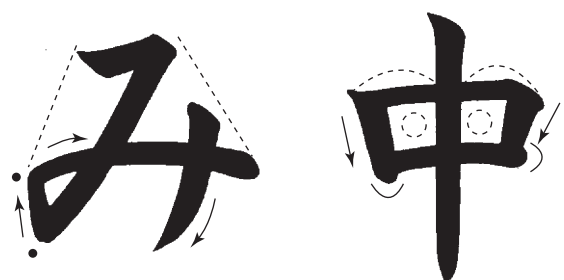
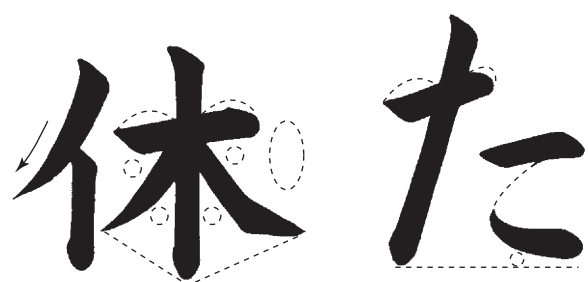
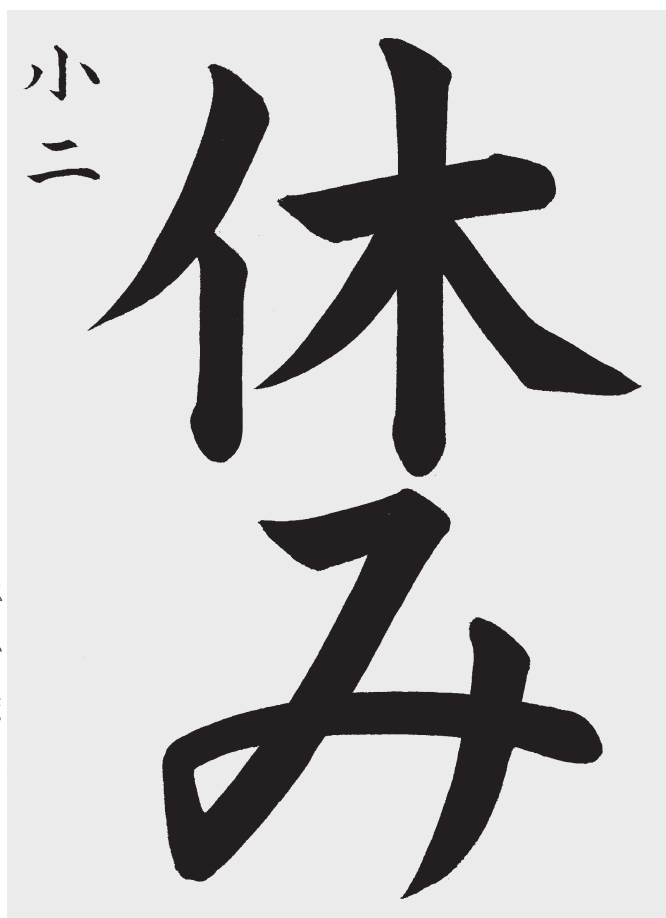
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
酒井智仔書



小五
村名の産

空広
小三
い

村名
中心
産
広空
拾

小四
拾ご
いみ

小三〜小五年
水野碧友書

中二・三 春の瀬 戸内海

小六 資格 国家

小六・中二・三年

玉樹小華書

※行書は線の連なりを大切に！

展

春

瀬

国

家

個

中一 個展を見ろ